

令和4年1月11日



第164号



あまぬまだより

http://www.suginami-school.ed.jp/amanuma_es/

杉並区立天沼小学校



新年のお慶びを申し上げます

校長 松野 泰一

令和4年が始まりました。本年も教職員一同、天沼小学校の教育活動が一層充実するよう取り組んでいきたいと思ひます。みなさまには引き続きご支援をよろしくお願いいたしします。

『みんなのしあわせを創る杉並の教育』これは、新たに策定された「杉並区教育ビジョン2022」に示された「私たちが大切にしたい教育の姿」です。みんながしあわせになる、というのは抽象的な目標なので、何が具体的な「しあわせ」か問えば、その答えは人によって違ふでしょう。健康で長生きすること、お金持ちになること、好きな人と一緒に過ごせること、夢が実現できること、やりたい仕事に就くこと、平和な世の中で暮らせること……。さまざまな「しあわせ」があると思ひますが、いずれにも共通するのは、気持ちが満たされている状況になることだと思ひます。つまり「心豊かに過ごすこと」が「しあわせ」なのではないでしょうか。みんなが心豊かで柔らかな表情になるために、私たちができることは何か、学校ができることは何かをみんなで考えていくための「杉並区教育ビジョン2022」なのだと思ひます。

毎年、学校だよりに書かせていただいておりますが、私の年初の決意は、今年も「ゆずる、つつしむ、感謝する」です。ずいぶん前から、元旦には毎年同じ言葉を掲げて、今年も意識しようと思うようになりました。人の喜びのために譲り、浅ましいことをしないよ

うに慎み、そして自分が今ここにあることを周りに感謝する、今年もそういう人であることを目標に、みんながしあわせになるためにできることを考える1年にしていきたいと思ひます。

元日は1年の始まりですが、そのまま過ごしていたらいつの間にか年末になります。元日も大晦日も365分の1日であることには変わらないのだから普段どおりでいいだろう、と思ひうかもしれません。毎日きちんと掃除していれば、大掃除をする必要もないと考える人もいるでしょうし、お正月だからと言って特別なことをしなくていいと考える人もいるでしょう。けれども、新年を迎えるというこの時期を、特別な思ひをもって過ごしたいと私は思ひます。それは、1年、また1年と時が過ぎていく、大切な「節目」だからです。

年末年始も、誕生日や記念日も、学校においては年度始めの4月1日も、365分の1日ではありますが特別な節目の1日です。その日を迎えるときにどんな気持ちになるか、何を考えるかによって、その1日が大きな意味をもってくるのではないのでしょうか。古来から日本人は1年の節目、季節の節目を大切にしてきました。今年の豊作や健康を祈って、しあわせを願って年初を過ごすという心は、現代の私たちも忘れてはならないものだと思ひます。

天沼小学校の子どもたちや地域の方々が、また良い1年を過ごして一人一人の「しあわせ」を実現できるように努めてまいります。

*** 今月の目標 ***

生活

礼儀正しく過ごしましょう

保健

寒さに負けず、
元気に過ごしましょう

給食

寒さに負けない体をつくろう



1月の行事予定



学校支援本部コーナー

天沼小学校支援本部(あまぬまワンダラース)の活動を紹介します

あまぬまワンダラース 掲示プロジェクト

掲示PJでは、展覧会の低学年作品を台紙に貼るサポートを行いました。大事な子どもたちの作品なので、細心の注意を払い緊張しながらの活動になりました。

今後はシンデレラ階段の季節装飾や書初め作品の掲示を行う予定になっております。興味のある方は、下記QRコードからご連絡ください。



日	曜	行事予定
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	冬季休業日終
11	火	特時・給食無 最終下校12:15 始業式 PTA安全点検16:00
12	水	給食始 委員会活動
13	木	HS 百人一首模範
14	金	安全指導 書初め6年 特支連合展覧会始(~18日火)
15	土	土曜授業・給食無 AKA交流学习 ICT授業公開
16	日	
17	月	書初め3年 低フォ
18	火	書初め45年 フォ
19	水	クラブ活動
20	木	5時間授業
21	金	百人一首の日
22	土	
23	日	
24	月	5時間授業
25	火	フォ
26	水	5時間授業 CS
27	木	校内書初め展始 HS
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	校内書初め展終 低フォ

学校運営協議会コーナー

安全、安心、そして、おいしい給食を目指して

小学校時代の思い出話に必ずでてくるのが給食ではないでしょうか。

今回は、天沼小の給食をまとめている栄養士の牧野歩美さんにお話を伺いました。

牧野さんは杉並区の職員で、天沼小には週に4日來校しています。献立は二ヶ月前から準備を進め、単純に1日に取るべき栄養の1/3の量ではなく、家庭で不足しがちな食品(芋、豆類、小魚)や鉄分、食物繊維といった栄養素を付加し、塩分などは逆に減らすなどの工夫をするほか、食材の栄養確保にも気をつけているそうです。

その他に、毎月家庭に配布される「給食だより・献立表」の作成、天沼小のホームページにある「給食産地表示」コーナーに毎日の献立と食材・産地、完成した給食の写真をアップするのも牧野さんの担当です。

ちなみに、給食の食材料は100%ご家庭からの給食費だけで賄われているので、コスト管理も牧野さんのやりくりにかかっています。

さて、実際の調理を担当しているのは株式会社エム・ティー・フード11名の皆さん。社員の方は毎朝6:30に登校し、12時の配膳までに680名の児童と学校関係者の給食を用意しています。作り手としての衛生を守るため、生卵と二枚貝は絶対に口にされないそうです。

学校では今も黙食が続いています。牧野さんはメニューを工夫してそんな状況でも楽しめる給食を準備したいとおっしゃっていました。

「給食産地表示」は「校長室だより」のすぐ下にあります。生産地や給食の写真が見られるのはこのコーナーだけなので、是非クリックしてのぞいてみてください。

<体育的行事>

なわ跳びフェスティバル



11月に、なわ跳びフェスティバル週間がありました。なわ跳びを奨励する目的は、跳ぶ運動の経験を通し、児童の体に発育刺激を与えると同時に、調整力・筋力・持久力などの調和のとれた体力を養い、寒さに対する抵抗力を高めるところにあります。また、健全な心身の育成をはかることもねらっています。

感染症予防対策のため、今年度は学年ごとに内容を工夫しての実施となりました。短縄と長縄両方、または長縄に焦点を絞って、どの学年も集中して取り組んでいました。中でも、長縄8の字跳びは全学年取り入れており、学年が上がるごとに、縄を回す速さもテンポアップ!子どもた

ちが互いに声を掛け合いながら、次々と縄に入り、楽しんでいました。

今後もなわ跳びに親しんでいけるようにしていきたいものです。



<文化的行事>

百人一首

鎌倉時代の歌人・藤原定家がまとめた「小倉百人一首」(以下、百人一首)。昔の人が思いを込めて詠んだ歌が、現代もなお受け継がれているとは、何とロマンチックなことでしょうか。

百人一首の詳しい意味理解は中学校の古典の学習で学びますが、小学校段階では、昔の言葉の音の響きに“親しむ”ことを大切にしたいと考えています。本校では、毎年、冬に「五色百人一首」という教材を使って楽しく対戦しています。

すでに、札を覚えたり、取ったりする練習をされているご家庭もあるかもしれませんね。

この学習体験を通して、天沼小の児童には、日本の伝統文化に対して理解を深め、それらを尊重し、国際社会を生きる日本人としての自覚と誇りを養ってほしいと願っています。



ICTコラム 中学年編

本校では、全学年を通してICTを効果的に活用した授業実践を進めています。3・4年生はタブレット端末の活用にも慣れてきたことから、様々な教科で使用しています。算数では一人一人の進度に応じた練習問題に取り組むことができる「ミライシード」や「まなびポケット」、他の教科でも子どもたちの考えを交流させたり表現させたりするためのツールとして「ロイロノート」などを活用しています。3年生以上の学年は毎日タブレットを家に持ち帰っていることから、家庭での学習にも活用させていきたいです。冬休みの宿題にも、タブレットで取り組む課題を出しました。

3年生は校内の防火設備のある場所について調べ、タブレット上に表示された地図に記録していく活動をしました。

4年生は国語「伝統工芸のよさを伝えよう」で、ロイロノートを使って写真や絵を取り込んだリーフレットを作りました。プレゼンテーションにも挑戦しています。



連合移動教室（富士学園）

今年度はコロナの影響もあり、延期となっていた連合移動教室でしたが、12月1日、2日で富士学園に行くことができました。出発の前日は雨となっていたようですが、当日は気持ちの良い天気となり、2日間ともきれいな富士山を見ることができました。3、4年生は初めてで、5、6年生は1年ぶりの連合移動教室ということもあり、楽しみな気持ちと少し心配な気持ちもありましたが、みんなで遊んだり、生活したりする経験をとても楽しむことができました。6年生は「最後だけ楽しかった。」、下級生は「また来年も行きたい。」という声も聞くことができました。楽しい連合移動教室の思い出となりました。



こだま学級

視覚障がい者の方との交流授業

総合的な学習の一環として、視覚障がい者の美月先生とガイドヘルパーの鈴木先生をお招きし、交流学習を行いました。シミュレーションを通して、視覚障がい者の方に街中で出会った際に、どのように声掛けをしたり、サポートしたりすればよいのかを学習しました。また、実際に点字器を使用して、自分の名前を打つ体験も行いました。

総合的な学習の時間では、「誰もが使いやすいテレビリモコンをデザインしよう」というテーマで、ユニバーサルデザインについて学習をしているため、子どもたちにとって、大変学びの多い、貴重な時間となりました。



4年



富士移動教室

5年

5年生は、11月15日(月)～17日(水)の2泊3日で富士移動教室に行きました。天気にも恵まれ、富士山のふもとで大自然に囲まれながら、火山によってできた洞窟の中に入ったり、高座山を登ったりと普段とは違った環境での体験を楽しみながら学習しました。また、富士学園の施設の中では、盛り上がったキャンプファイヤーや肝試し、同じ部屋での生活を通して、子どもたちの新たな一面を見ることができました。コロナ禍で様々な行事制限される中、移動教室に行けたことはきっと心に残る思い出になったと思います。



展覧会に向けた取組

6年生は、3年に一度の展覧会に様々な形で関わりました。最高学年として、学校全体の取組を支える役割を果たすことができました。今回の経験から、大変さの中にも達成感を味わうことができたようです。また、一人一人の個性の素晴らしさを実感する機会となりました。

【会場設営】※会場片付けは5年生

・会場を整理し、作品展示スペースを設置。

【会場内のBGMづくり】※音楽の授業との連携

・BGMとして使用する曲を、自分たちで作詞・作曲・編曲・演奏・合唱。

【展覧会全体に関わること】※展覧会実行委員（5年生との合同チーム）

・展覧会テーマの全校への周知のため、全校朝会でのお知らせとポスターの作成。

・各学級での、共同作品作成チームの募集。

・展覧会会場入口の装飾。（企画・準備・作成）

【共同作品作成】※有志（5年生との合同チーム）

・「光」「かけ」をテーマにした各学年の作品を撮影したものを、PC上でつなげ、デジタル作品にする作業。

【鑑賞スローガン作成】

※代表委員（4・5年生との委員会活動）

・鑑賞スローガンを作成し、放送と代表委員会だよりでの周知。会場内の掲示物づくり。

